

「霧島市 10 万本植林プロジェクト植林教室」マニュアル・・・サプリーダーのために
NPO 法人霧島ふるさと命の森をつくる会

10:30
植林指導



壇上に立った宮脇の声が響く。「これが、この土地に本来あるべき主木の一つです。タブノキ、タブノキ、タブノキ・・・」「混植・密植」
*1㎡に3~4本を混ぜて植える。私どもは3.125本で設計

11:10
植林スタート



苗を、満水のトロ箱に45度の角度で、しっかり水に浸す。人間の手でやる最後の水。



ポットから外した苗を移植ゴテで根鉢1.5倍ほどの穴を掘り、やや引っ張り気味に植えていく。同じ種類の好きな木だけを植えてはいけない。自然の森の掟に従って、混ぜる、混ぜる、混ぜる。苗の枝を持たない、根鉢を持つ。

11:55
ワラ マルチ
ング



植え終わったら、下の写真のとおり地面が見えなくなるほどに敷き藁をする。赤ちゃんを毛布にくるむように、苗を包み込むように丁寧に敷く。小さなお子さんから年配の方まで、一人ひとりができることをすればいい。*藁は、ナイロンの紐で括られているので、必ずハサミを持っていること。ナイロンは、捨てない。まとめておくこと。



12:15
縄かけ



最後は、藁が風で飛ばないように縄がけする。3人一組になって、V字状に縄をかけていくのが理想。*今回は、事前に綱がけ用の竹杭が打っているので、植林・マルチング時につまづかないよう気を配ること。綱は、適当な長さにしておくこと。

12:30 完成

12:35
集合写真・閉会
そして昼食、解散



*完成後の植林地は、いつ見ても感動的である。5年後は4m、15年後は本物の森。